



箕面小だより



箕面市立
箕面小学校
令和6年(2024年)
12月号

学校教育目標
めざす子ども像
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

授業に向き合う

校長 垣内 幸太

学校で一番長い時間を過ごすのは当然ながら「授業」です。本校では、その授業をよりよいものにするために、「わかる、できる、たのしい授業」をテーマに掲げて、日々の授業に向き合っています。さらに、今年度は「対話」に着目して研究を進めているところです。11月21日には、その成果をお伝えするべく、本校を会場に公開研究会を開き、他校の先生からご意見をいただきました。来られた方のアンケートよりいくつか紹介します。

「ペア学習を取り入れ、どの子どもも安心感のもとよい雰囲気です。授業をおこなわれていた」

「先生の穏やかな話し方、包み込む優しさ、肯定的な言葉が子どもたちの発言を引き出していた」

「終始、続きが気になる進め方で子どもたちが発言したくなる授業だった」

「子どもたちがアクティブで主体的に授業に参加しているのが印象的だった」

「ICTや実物を用いて、『見える化』されていたので、課題がしっかり伝わっていた」

「中学校へのつながりを常に意識して授業していくことが大切だと再認識した」

「学年に応じて教師と子どもの対話から、子どもたち同士の対話をいかにとり入れていくか」

「ペアやグループでの活動が多かったが、その目的を子どもたちともしっかり共有しなくては」・・・

成果や課題、たくさんのご意見をいただき、わたしたちにとって大変実りの多い一日となりました。この1時間のために、授業者は一人ひとりの子どものよりよい学びに向けて、知恵を絞ります。また個別に支援をする者も授業内容によって、どのように支援するのか手立てを考えます。同僚と対話を重ねながら、時には勤務時間を過ぎてしまうこともあります。多くの熱意をもって、1時間の授業と向き合います。しかし、どれだけ準備を重ねても100%満足のいく授業はなかなかできません。わたしも20年以上、毎日授業を重ねてきましたが、100%と思えるのは数えるほどしかありません。それは、毎日子どもたちの姿が同じではないからです。授業では「あれ?想定と違う」ということがやっばりたくさんおこるのです。そのときにどうするか、わたしたちの本当の力が試されます。簡単なことではありませんが、教師の本分であり、楽しさでもあります。これからも、より高みをめざして子どもたちと授業に向き合ってまいります。その成果を参観などの機会に、みなさまにも観ていただければ幸いです。

今年も残すところ1か月となりました。朝夕の気温もぐっと下がり、市内においても、学級閉鎖などが増えてきています。皆様も体調管理に十分ご留意ください。

少し早いご挨拶となりますが、2024年も大変お世話になりました。日頃より、笑顔で子どもたちを見守っていただいている保護者、地域の皆様ありがとうございます。それぞれのご家庭で幸せな時間を過ごされ、新しい年を迎えられますようお祈り申し上げます。3学期も、引き続き、本校教育活動への変わらぬご理解ご協力をよろしくお願いいたします。